

# BUSINESS REPORT

第73期決算期 2024年1月1日～2024年12月31日

株式会社ナカニシ



**NSK**  
Create it

# Top Message [株主の皆様へ]

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2024年度は、コロナ特需の一巡や政策金利の高止まり、設備投資意欲の減退など、厳しい事業環境が続きました。このような中、機工事業は軟調となったものの、歯科事業が堅調となったほか、外科事業・DCI事業は好調に推移しました。連結売上高は770億円、連結EBITDAは204億円と過去最高を更新しました。一方、市況悪化や競争激化で業績悪化したイエガー社の減損処理を行ったため、親会社株主に帰属する当期純利益は85億円となりました。

当社グループがさらなる成長を遂げるための重点市場としている北米市場では、歯科事業・DCI事業ともに順調に販売を伸ばしています。2025年度においては北米市場の攻略をさらに加速させるべく、NSKアメリカ・DCIともに積極的なマーケティング活動を展開し、さらなる市場シェア拡大を図ります。また、緩やかな回復をみせはじめた欧州市場や国内市場でも拡販を進め、トップシェアメーカーとしてのポジションを盤石なものにしていきます。

きたる2030年に、ナカニシは創業100周年を迎えます。重要な節目の年に向けてさらなる飛躍を遂げるべく、新たな中期経営計画の策定を進めています。創業から培ってきた「削るテクノロジー」によって「美しい進歩」を創造していく。当社が掲げるミッションを実現し、新たな境地に踏み出すための経営戦略を策定し、世界に広がるナカニシグループの全従業員がONE TEAMとなって計画達成に向けて邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社の成長にご期待いただくとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員

中西 英一



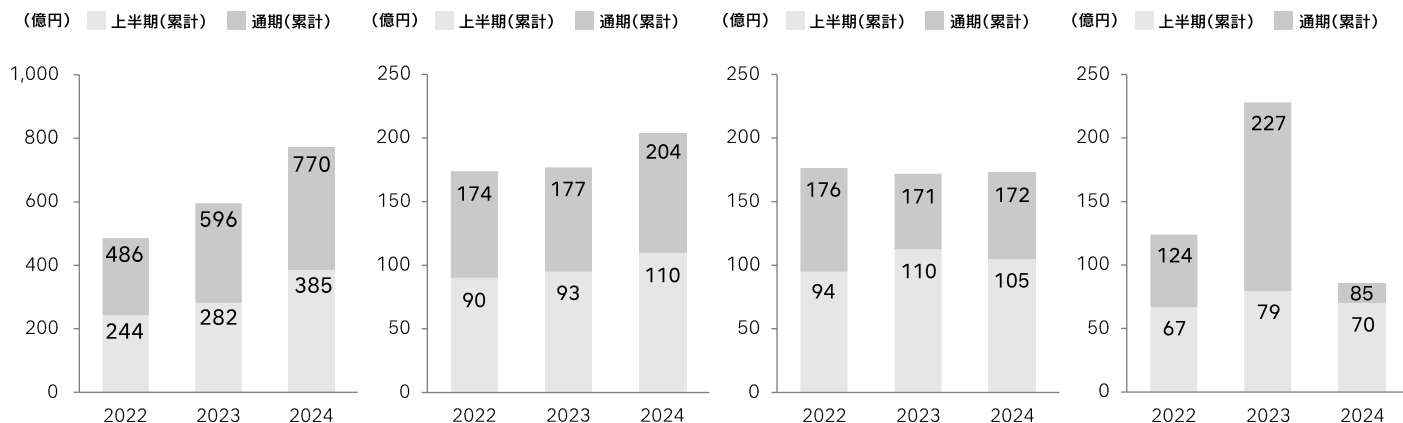
# Financial Summary [決算概要]

## 2024年度の業績概要

2024年度は、機工事業が軟調となったものの、コロナ特需の反動減が続いた歯科事業が堅調に推移したほか、DCI事業や外科事業が好調に推移しました。円安の進行も業績の追い風となり、連結売上高・EBITDAは過去最高となりました。一方、市場競争の激化で業績低迷するイエガー社の減損処理を行ったことで、親会社に帰属する当期純利益は減益となりました。

売上高		EBITDA*		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
770億円	前期比 +29.1%	204億円	前期比 +15.3%	172億円	前期比 +0.5%	85億円	前期比 -62.4%

\*EBITDA = 営業利益+減価償却費+のれん償却額



## 2025年度業績予想

2025年度の業績予想は、緩やかな回復をみせている世界需要を最大限に取り込み、歯科・DCI・外科・機工のすべての事業で増収を目指す計画としています。増収に伴う利益増加を見込む一方、北米市場（NSK・DCI）および外科事業の成長を確実にするべく、営業力の強化に向けた販売管理費を積み増す予定です。これにより、EBITDA・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は減益となる見込みです。なお、前提となる想定為替レートは、1米ドル=145円・1ユーロ=155円としています。

売上高	806億円	前期比 +4.7%
EBITDA	189億円	前期比 -7.5%
経常利益	138億円	前期比 -19.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	95億円	前期比 +11.6%
想定為替レート	1米ドル = 145.00円	
	1ユーロ = 155.00円	

# Business Domain [事業領域]

## 歯科事業 Dental Business

補綴歯科治療・歯周病治療・インプラント治療・訪問歯科診療など、広範な歯科治療をカバーする歯科治療機器の開発・製造・販売を行っています。

2023年に買収したリファイン社の業績が含まれています



歯科用ハンドピース  
Ti-Max Zシリーズ



インプラントモーター  
Surgic Pro2



歯科用マイクロモーター  
NLZ



リファイン  
超音波スクーラー

## DCI事業 DCI Business 新設

2023年に買収した米国デンタルチェアメーカーDCI社の業績を示すためにセグメントを新設。北米市場向けにデンタルチェアおよびデンタルパーツの開発・製造・販売を行っています。



デンタルチェア  
DCI Edge Series 5



デンタルキャビネット



デンタルパーツ

## 外科事業 Surgical Business

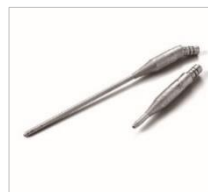
脳神経外科・脊椎脊髄外科・整形外科等の医療分野で使用される外科手術用の骨切削ドリルの開発・製造・販売を行っています。



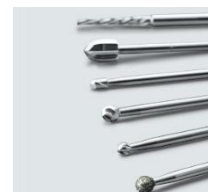
外科用電動ドリル  
Primado2 コンソール



サージカルモーター  
P200-SMHシリーズ



アタッチメント  
P300アタッチメント



先端刃具  
各種アタッチメントバー

## 機工事業 Industrial Business

自動車・精密部品等、幅広い製造分野の微細・精密加工で使用されるモータースピンドルの開発・製造・販売を行っています。

2022年に買収したイエガー社の業績が含まれています



スピンドル  
E-4000シリーズ



超音波研磨機  
シーナスZERO



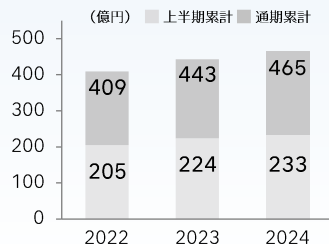
電動ハンドグラインダー  
Emax EVolution



イエガー  
高周波スピンドル

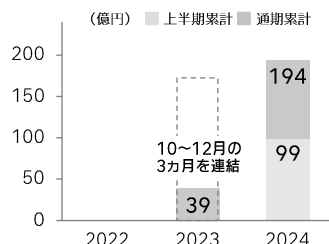
# Performance Trends [各事業の業績動向]

## 歯科事業 売上高の推移



国内	販売実績 前年比	→	需要減が続いた自社製品販売は下半期に回復。特需が剥落したOEMは販売減
欧州	販売実績 前年比	↗	厳しい市況ながら各海外現地法人による精力的な営業活動により販売伸長
北米	販売実績 前年比	↗	現地法人の営業強化が奏功し、歯科大学やDSOとの取引拡大。OEMも伸長
アジア	販売実績 前年比	→	韓国向け販売は堅調となったものの、需要減退が続く中国・東南アジアは軟調
その他	販売実績 前年比	↘	豪州は堅調。紛争が続く中近東やロシアは低迷。南米は在庫調整で販売減

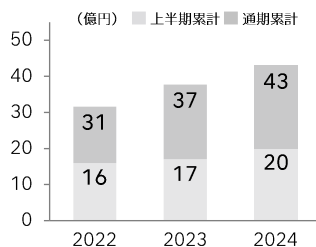
## DCI事業 売上高の推移



北米	販売実績 前年比	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北米市場におけるデンタルチェア・デンタルパーツ販売は堅調に推移</li> <li>・DCI社単体の業績は、為替影響を除外した現地通貨ベースで増収増益</li> </ul> 市場：Q4に入って回復に転じたものの、累計販売台数は伸び悩み、前期比▲6% DCI：Q2は前期並み、Q3以降も回復が進み、年間累計販売台数は前期比 +2%
----	-------------	---	--

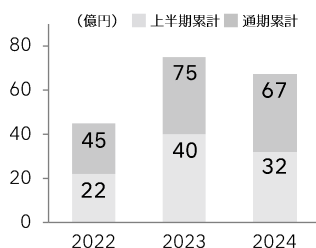
\*前期は、DCI社の10月～12月(3か月)の業績のみ連結しています

## 外科事業 売上高の推移



国内	販売実績 前年比	↗	脊椎外科に焦点を当てた営業活動が奏功し、コンソール・消耗品ともに販売伸長
欧州	販売実績 前年比	↗	需要は弱含んだものの販売伸長。競合他社の市場撤退による商機取込に注力
北米	販売実績 前年比	↗	協業ビジネスやKOL連携強化等の事業戦略が功を奏し、順調に事業拡大
アジア	販売実績 前年比	↗	主力の中国や韓国では需要減が続いたものの、製品力を武器に販売拡大

## 機工事業 売上高の推移



国内	販売実績 前年比	→	需要後退局面が続いており大幅減収となった。下半期に入り需要回復の兆し
欧州	販売実績 前年比	↘	需要後退でナカニシは販売減。市況悪化・価格競争激化でイエガーも大幅減
北米	販売実績 前年比	↗	厳しい市場環境が続いたものの、積極的な提案営業が功を奏し、販売伸長
アジア	販売実績 前年比	↘	主力である中国市場は期末に復調したものの販売不振が長引き、大幅減収

# Topics [ 歯科事業 新製品 ]

## 歯科用デュアルモーターシステム「NLZ Pro」を発売

2024年11月 北米市場に向けて出荷開始



市場シェアを順調に伸ばしている北米市場でさらなる成長を遂げるべく、歯科用マイクロモーターの新製品「NLZ Pro」を発売しました。北米市場では、電気モーター駆動の歯科機器の需要が徐々に高まっています。当社の電気モーター式のハンドピース（コントラアングル）やマイクロモーターは市場評価も高く、市場シェア拡大の原動力になっていました。電気モーターへのシフトという北米市場の潮流を着実に取り込むべく、新製品「NLZ Pro」を拡販していきます。

### ビルトイン対応



NLZ Pro本体はデンタルチェアユニット内部に組み込むことができるため、設置によって配線が露呈したり、治療スペースが占有されることはありません。ビルトイン対応によりスマートで効率的な治療環境を提供しています。

### デュアルモーター制御



NLZ Proは2つのモーターを制御することができるので、用途や回転数の異なるコントラアングルを使い分けられるようになります。これにより、アタッチメントを変更する回数が抑えられ、効率的な歯科治療の実現に貢献します。

### カラー液晶パネル搭載



LCDタッチスクリーンに数字やボタンを大きく表示することで、視認性・操作性を大きく向上させました。使いやすさを追求した画面は直感的な操作が可能となっており、ストレスフリーな治療環境を提供しています。



訪問歯科診療ユニット

## VIVAace 2

2025年3月 国内市場において販売開始

2016年7月に国内販売を開始した訪問歯科診療ユニット「VIVAace」はロングセラー商品となり、国内の訪問歯科診療の現場で活用され続けています。そして2025年3月、製品コンセプトを維持しつつ顧客要望に基づいたアップグレードを施した後継機「VIVAace 2」を発売しました。持ち運びしやすい小型・軽量ボディに、高性能マイクロモーター・超音波スケーラー・シリンジ・バキュームなど、歯科診療室と大きく変わらない治療環境を凝縮しました。短時間で設置・撤収が可能で、快速で効率的な訪問歯科診療を強力にサポートします。国内発売を皮切りに、訪問歯科診療ニーズのある世界の各市場において順次販売していく予定です。

### 高性能マイクロモーター



軽量コンパクトで取り扱いやすいサイズの高性能モーターを搭載。高速から低速まで、すべての回転域で高いトルクとスムーズな回転を実現しています。

### 多目的超音波スケーラー



チタン製ボディを採用した超音波スケーラーを搭載。細い先端部はアクセスが難しい最後臼歯（奥歯）にも届きやすく快適な治療にも貢献しています。

### 視認性に優れた操作パネル



正面のみならず側面からも見やすい大画面の液晶パネルを採用。明るい画面に大きなボタンを配置し、様々な訪問先環境でも直感的なタッチ操作を可能にしています。

### 高性能バキューム



顧客ニーズに基づいてバキュームの吸引力・吸引量を大幅アップ。パワフルな吸引力と静音性を両立させたバキュームは、訪問先でのスムーズな治療に貢献しています。

# Topics [ 株主還元 ]

## 株主還元方針

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと位置付けており、事業基盤の強化や成長領域への投資を適正かつ積極的に推進しつつ、株主の皆様への利益還元をバランスよく行ってまいります。

将来の成長投資に必要な内部留保を考慮した上で、中期的な利益還元の基準として総還元性向50%を設定し、機動的な自己株式の取得と安定的かつ継続的な増配を行うよう努めています。

## 株主還元

### ■2024年度の自己株式取得・消却

株主還元方針：総還元性向50%の実践に向けて、2024年度上半期においては下記の通り自己株式を取得しました。

・2024年2月20日公表分の取得結果：合計841,200株・1,999百万円

\* 取得した841,200株は、2024年4月5日付で消却いたしました

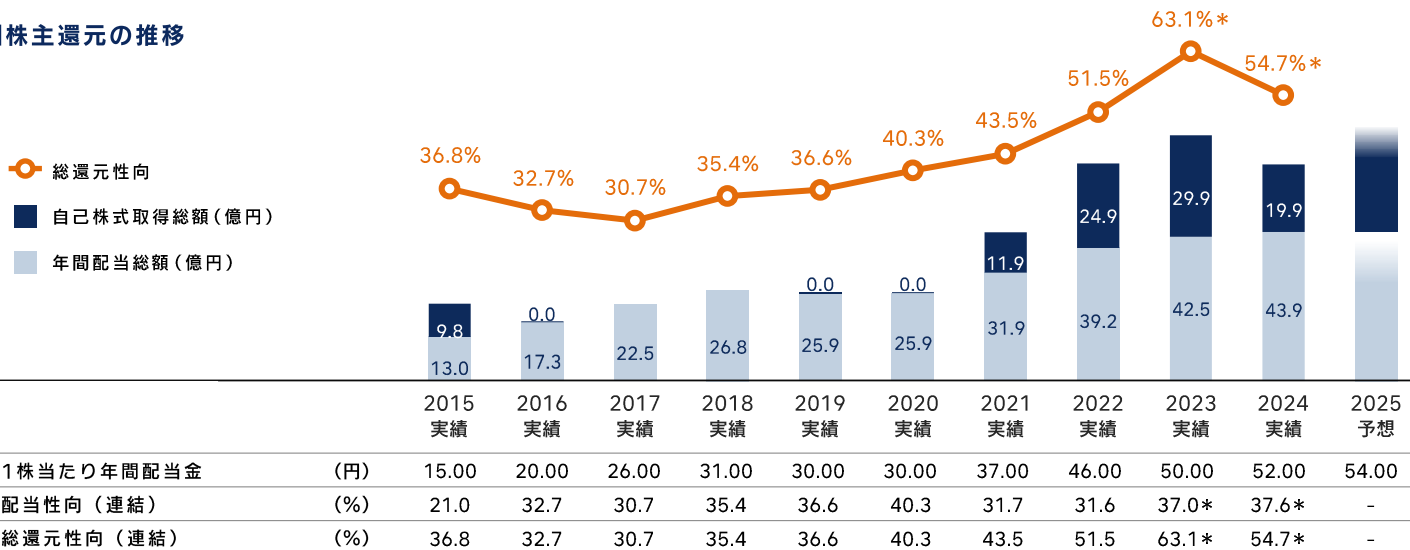
### ■2024年度の配当実績

2024年度の期末配当金につきましては、1株当たり26円とさせていただきます。これにより2024年度の年間配当金の総額は、既にお支払いしている中間配当金26円と合わせて、1株当たり52円となりました。

### ■2025年度の配当予想

2025年度の1株当たりの配当金予想としましては、前年度に比べて2円増配し、1株当たり54円(中間配当金26円・期末配当金28円)としています。

### ■株主還元の推移



\* 2023年度の総還元性向配当性向の算定では、DCI完全子会社化に際しての段階取得に係る差益を控除しています

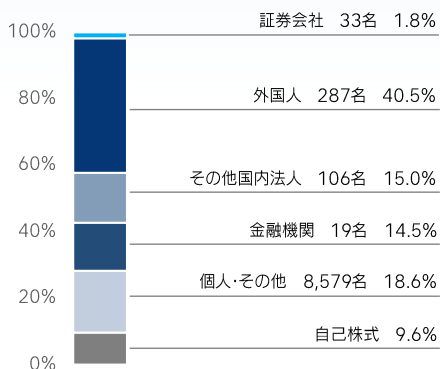
\* 2024年度の総還元性向配当性向の算定では、イエガー減損損失による利益減を控除しています



# Stock Information [ 株式情報 ]

## 株式の状況 (2024年12月31日現在)

■発行可能株式総数	375,000,000株
■発行済株式の総数	93,418,200株
■株主数	9,025名
■株式分布状況	



## ■大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	5,066千株	6.0%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	4,983千株	5.9%
ナカニシE&N株式会社	4,530千株	5.4%
中西千代	4,362千株	5.2%
公益財団法人NSKナカニシ財団	3,721千株	4.4%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,369千株	4.0%
株式会社オフィスナカニシ	3,120千株	3.7%
中西英一	2,802千株	3.3%
中西賢介	2,798千株	3.3%
足利銀行	2,265千株	2.7%
JP MORGAN CHASE BANK 385632	2,265千株	2.7%

\* 当社は自己株式を8,961千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。

\* 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

## 会社概要 (2024年12月31日現在)

会社名	株式会社ナカニシ
創業	1930年2月
代表者	代表取締役社長執行役員 中西英一
資本金	867百万円
従業員数	連結 2,180名 単体 1,100名
本拠地	栃木県鹿沼市下日向700
事業所	本社RD1・A1工場・A1+工場・M1工場 東京事務所・大阪事務所・名古屋事務所
グループ会社	NSK America (米国) DCI International (米国) NSK Europe (ドイツ) Nakanishi Jaeger (ドイツ) NSK France (フランス) NSK United Kingdom (イギリス) NSK Dental Spain (スペイン) NSK Dental Italy (イタリア) NSK Dental Nordic (スウェーデン) NSK RUS (ロシア) NSK Middle East (UAE) NSK Shanghai (中国) Refine Medical Instrument (中国) NSK Dental Korea (韓国) NSK Nakanishi Asia (シンガポール) NSK Oceania (オーストラリア) NSK America Latina (ブラジル)

## (2025年3月21日現在)

役員	代表取締役社長執行役員	中西英一
	代表取締役副社長執行役員	中西賢介
	取締役専務執行役員	鈴木正孝
	社外取締役	野長瀬裕二
	社外取締役	荒木由季子
	社外取締役	汐見千佳
	常勤監査役	播田仁
	社外監査役	澤田雄二
	社外監査役	馬来義弘
執行役員	社長執行役員 CEO	中西英一
	副社長執行役員 COO	中西賢介
	専務執行役員	鈴木正孝
	執行役員 CFO	鈴木大介
	執行役員	有賀浩一
	執行役員	田中章雄
	執行役員	永沼司
	執行役員	宮本幸次
	執行役員	菊地正晃

## 株主メモ

証券コード	7716
事業年度	1月1日 から 12月31日 まで
定時株主総会	毎年3月開催
株主確定基準日	定時株主総会議決権行使の基準日 12月31日 期末配当金の基準日 12月31日 中間配当金の基準日 6月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 0120-782-031（フリーダイヤル）
公告方法	当社ホームページに掲載します。ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
お知らせ	●住所変更、単元未満株式の買い取り等のお申し出先 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。  ●未払配当金の支払い 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

### ビジネスレポート印刷冊子の郵送取り止めのご案内

当社は地球環境に配慮した省資源化の取り組みの一環として、ビジネスレポートの印刷冊子の郵送を取り止めまして、その代替として当社のホームページ(<https://www.nakanishi-inc.jp/ir/dataroom/#br>)に掲載しています。ご理解いただきますようお願い申し上げます。